（第三種郵便物認可）　昭和四年十二月三十日　上毛新聞　月曜日　第一萬三千八百八十三號　（三）

上越境を貫ぬく轟然たる大爆音
きのふ午後二時五分過ぎ大清水トンネル遂に貫通

（須田、土屋兩特派員湯檜曾發）八ケ年に亘る忍從の生活と九百二十万圓の總工費、延人員實に九十五万餘人を使役した東洋第一の大清水トンネルが愈貫通する二十九日

◇◇上越　國境は凍りつゝ寒さにこゞえて明けた。五尺餘も雪降り積もつた大地の上は萬物を淨化して白皚々、見渡す限りの白一色、灰色に掩はれた沼田口建設事務所にも溢るゝ喜びの色が明るく輝いて居た。今日の坑道貫通式は一般官民の招待もなく直接工事關係者のみで内輪に擧げられたものであるが意義深い貫通の現場に立會ふべく

◇◇武股　東京建設事務所長河原鐵道省建設局工事課長等は二十八日既に現場に來着して佐藤主任技師の案内で工事の現場等を詳細に視察し作業從事の技手、工夫等の勞をねぎらふ處があつた

緊張、感激、昂奮
爆破貫通の其の刹那に泣きながら叫んだ萬歳

（須田、土屋兩特派員湯檜曾發）外界と絶たれた坑内には最後の喜びに胸を躍らす掘鑿作業が豫定通り進捗し正午には上越兩國の記録的地下連絡は最後に一擧爆破さるべき約六尺の地盤を殘して文字通り咫尺の間に相對し

◇◇双方　から約十本宛のダイナマイトを挿入して爆破貫通の準備はこゝに全く完了を告げた。かくて待つ間もなく永久に記念さるべき午後二時は來つた、目には見えねど此の瞬間坑道に、事務所に、飯場に、忽ち電流の如く緊張の波紋が起る、滿山音もなく恐ろしい大緊張、大沈默である、現場立合の係員及び作業中の工夫等は千二百尺の後方に退いて最後の爆破を手に汗して待つ

◇◇午後　正二時。東京鐵道省大臣室に裝置せられた電鈴スヰツチ、ボタンが江木鐵相の手で押さるゝや電流は土合事務所主任技術室に裝置されたリレーに働き、新たなる電源から電流は導坑内爆破裝置の現場へ流れた。佐藤主任技師のスヰツチが入る。忽ち轟然たる爆音響はほの暗い坑内の空氣を怒濤の如くゆすつて去つた。殘つた六尺の岩盤は物の美事に碎け飛んで人一人の出入し得る穴が表裏日本の脊骨を貫いてつながつたのだ。

◇◇爆音　沈默、その沈默も暫時、堤を切つた樣な萬歳の嵐が起つた。技手工夫等は皆抱き合つて泣いてゐる、泣き乍ら感激の萬歳を叫んでゐる。爆破作業終れば武股所長は鐵道直通電話で江木鐵相に詳細爆破の狀況を報告し監督技術者從業工夫及び家族等約千五百名は用意せられた赤飯と冷酒と肴で心からの喜びを語り合つた。掘鑿作業中の優秀者三十名の表彰式も行はれ雪に埋れた水上村は唯感激と止め難い昂奮の渦にもまれ乍ら夜を迎へた

重責を果してやつと一安心
愈々開通したきのふ
南口主任技師佐藤氏の喜び

（須田、土屋兩特派員湯檜曾發）清水トンネル最後の貫通工事南口の主任技師佐藤周郎氏は丹那トンネル工事監督から昭和二年十月赴任した人で愈開通したきのふ國家的大事業を完成する喜びに燃え乍ら語る

やつと一安心です、私は三好技師の後に來たので別に申上げる程の手柄もありません、でも大正十四年の大出水の後でしたからその後片付けに苦勞しました

◇◇坑内　の水底にはダイナマイトが轉つてゐるので手荒な作業は控へなければならなかつたりしたのは遺憾でした昭和二年末頃から貫通の豫定が付いて全員協力して作業を進めましたが又坑内に出水があつて作業を屢ばまれ北口から反響してくるダイナマイトの爆音に威勢を付けながら言語に絶する努力を拂ひましたが遂えに貫通を一日延ばしたのは如何にも殘念の至りです、でも年内に貫通する日を迎へて私共の努力が徒爾でなかつた事は全員一同の大きな喜びとする所です

各方面の感想は
劃期的な大事
縣民共に愼重なる態度を
―堀田知事は語る

清水トンネルの貫通に當つて堀田知事は次の如く語る

本縣と新潟縣とは山一重によつて物資の交易を進められ、殊に北日本から京濱都市への物資輸送は非常に不便なものであつた、それが今日いよ〱貫通され

◇◇殊に　製絲國の本縣にとつて工女の需給關係其他に於いて莫大の利益を受けることになつたことは非常に喜ばしい次第である、本縣側には利根吾妻の開通となり溫泉境の發展は期して待つべきである、從來斧鉞の入らぬ同地方の豐富なる山林の幸が搬出され兩縣の產業交通はいよ〱密接なものとなつたかゝる劃期的な大事の完成に對しは吾々は縣民と共に愼重な態度をもつて、一層意義あらしめたいと考へる

本縣には好い影響
西村蠶絲課長談

蠶種製造の方面には有望と考へられる、比較的遲れてゐる開地の新潟縣に向つて縣からは優良の蠶種を送る機會が多くなつた事は本縣蠶種製造業のために良い事であると思ふ又本縣製絲工場に働く職工の大部分の出生地である新潟縣と距離が甚だしく接近して來た事に依つて職工の親達の心配を減じまた募集の爲の旅費、入場、歸國の旅費が減額される等清水トンネルの開通は本縣の製絲業者を有利ならしめるものがあると思ふ

新潟縣の進出
村谷商工課長談

上越線開通は本縣にとつても特筆すべきもので、經濟界の變動も大きく延いて金融にまで及ぼし財力豐かな新潟は必ず直接資本を投じて支店設置その他で本縣側を壓迫し殊に本縣山間部地方の物資集散中心地となる沼田に目標を置かれる事となるのでこの方面の對策についてなすべき事多く目下着々調査中である

前橋には有利
加部前商理事談

前橋は新潟縣とは密接な關係を有し江戶街道の要路として常に人馬の往來頻繁を極めたが信越線開通以來は行路一變して人貨何れも信越線に依る事となり最近貨物中主たるものゝみでも米穀の三十萬圓、魚類其他約八十萬圓、製絲原料繭二千貫餘又同縣へ移出するものは麥の二十万圓を始めとし呉服、小麥粉計四十萬圓の多きに達し尙現今製絲工場に雇傭しある工女の數は四千餘人で是は何れも古き關係により上越線沿道の住民の子女最も多く開通の曉は古來當地に多數移住せる緣故者を便りて來るもの益々多かるべく且上越二州富源の開發に依り工業原料及生活上必要なる物資の輸入を敏速豐富ならしめ以て本市の生命たる製絲工業を始め其他勸業中の工業の發展を促進し利根川の豐富な水力電力と相俟つて關東一の製絲其他の工業地たるべきは必然で我が前橋發展の上には多大の利便たるべく此開通により更に進んで利根川を限界とせず西部に發展せしめ左岸に勃興した群馬社始め其他新設さるべき工場會社の連絡上現今の利根橋大渡り橋の中間現今の曲輪橋の位置に一の架橋を必要とすべく前橋三大橋の實現に依り上越鐵道を抱擁し大前橋の建設に向つて勇奮努力せられんことを望む

裏日本產業開發上に一新紀元を劃す
上越線が開通の曉には括目せられる一大進歩

二十九日午後二時を期して貫通される清水大トンネルは昭和六年秋を以て竣工し上越全線の開通となる豫定であるが

◇…同線　の全通は小にしては我奧利根に無限に包藏する寶庫の開發となり大にしては表裏日本の交通運輸或は產業開發上に一新紀元を劃するものとして偉大なる役割をつとめるものである。先づ交通運輸上にもたらす利益を摘記すれば同線の全通によつて從來信越線廻りの長岡上野間は六十一哩九分、時間にして三時間半の短縮を見る。新潟上野間を急行列車に依る時は實に八時間半の短時間に到着する事になり

◇…旅客　賃金も三等で九十七錢を節約する事が出來る。これを磐越線に比較して見ても五十三哩五分三時間半の短縮を來すことになる同線は信越地方に見るが如き急勾配なく山岳重疊たる奧利根地方の峻も僅五十分の一の緩勾配を最新式の電氣機關車によつて奧利根溪谷、四季とり〲の景色を窓外に滿喫して眞に遊山氣分の中に旅行する事が出來る

◇…更に　貨物運輸の方面を比較すれば米一噸の長岡秋葉原間の貨切拔ひは信越線廻りに比して五十二錢、新潟秋葉原間は磐越線廻りに比して四十二錢安となり同線利用の旅客貨物の數量を一ケ年推定四十五万七千餘噸の節約を見る事が出來る豫定である

高崎驛大擴張
ちかい將來には
明年第一期擴張工事完成後
第二期工事に着手か

上越南線清水トンネルの難關も廿九日に貫通して昭和五年には完全に表日本と裏日本とが聯絡されるので其の關門を占める高崎驛の開通後の影響は甚大であるが

◇◇先づ　從來上り下り兩貨物列車の中繼が八百輛の處、開通後は優に四百輛を增加すべく、又白河經由の羽越線によつたもの旅客輸送も同線を利用することゝなり、從つて此の對策として貨車千二百臺程の發着中繼の設備として大車庫と旅客列車の收容線を增設する必要を認め、現在の第一期工事卽ち昨年四月着工の機關庫、檢車室、第三ホームの築造、配線の一部變更、待合室の增築、南北兩

信號所の新築等が

◇◇明年　五月に完成する筈で更に、之れに次いで第二期工事の實現を上局に申請したが鐵道省

として緊縮政策に基き本線全通後の狀況により第二期擴張工事計畫に着手の意向であつたが或は急速に實現を見るかも知れず又近い將來には八高線も完成するから彌が上にも高崎驛は重要なる位置を占め唯に北關東交通の中心點のみならず實に北越東北兩地方交通の要路を扼するから今後の發展は期して俟つべきものがあらうと云はれてゐる

回禮贈答廢止
高崎八島町で

高崎市八島町では今回役員會を開いて協議の結果年賀の回禮、歲末年始の物品の贈答等を全廢し一月一日午前八時迄に町內有志が南校へ集合して新年祝賀式を擧行する事となつた

開拓の勇士には花嫁御が必要
新野さんの奔走で
六里ケ原に近く十組の結婚式

六里ケ原の開墾移住者十名は此正月の休暇を利用し夫々歸鄕することになつたが此機會を得て縣當局は

◇此等　移住者に配偶者を求めて來春五月雪解け頃各自の獨立家屋を新築されると同時に溫い家庭を造るよう横山農務課長、折原技師、新野技手等が過般來種々奔走に努めてゐる。移住者は二十五六歲を中心とする獨身者のみで獨立家屋竣工の時は夫々一家をなさねばならず完全な模範的農村建設のためには何うしても此の機會に配偶者を與へねばならないと云ふのである。多分

◇新野　技手仲介の勞をとるため各自の居村を廻り兩親其他の諒解を得て一月中旬六里ケ原へ歸る迄には候補者が選定される模樣で中には既に自發的に申込んで來るものも一二あつたようであるから五月中旬には六里ケ原開墾地に十組の合同結婚式が擧げられる筈である

兩手首に掛けて大火傷を負ひ大胡町小池醫師の手當中であるが中々の重傷である原因は前夜九時頃隣家の齋藤五郎治方に於て酒をしたゝかあふり歸宅後爐端で焚火した儘寢入つてしまつた處火が附近の藁に燃え移つた爲め

大胡署員表彰
殊勳の七氏

去る十五日深更、勢多郡宮城村大字柏倉、引田義鏡方へ押入つた强盜傷人の兇賊高橋太一郎は所轄大胡署員の大活動に依り難なく逮捕し被害村落の住民を安堵せしめたが本縣刑事協會長本間警察部長は一昨日山中、片貝兩警部外殊勳の五巡査に對して特別賞與と同時に表彰狀を贈り池田署長の手で授與するところがあつた

巡査部長山中友幸、片貝武平、巡査森島守、橋本濱吉、齋藤正治、富田正吉、藤川庫二

新運轉手免許

新自動車運轉手試驗規則の適用に依る乙種運轉手追加實地試驗は廿五、六、七の三日間施行したがその結果受驗者七十一名中左記卅四名は廿八日付免許された、同免許證は一月早々各交附する筈

松本榮、富田功、高岸涉平、菊地德三郎、福田又市、堀越德三郎、石川淸、松島彥九、須永忍、宮崎俊三、新井金作、前田喜代松、高野達司、加藤一郎、久島軍治、新井貞治、貝瀨庚一、西山幸作、桑原武夫、上原源太郎、大山德丸、近藤松次、早川卯平、橋本三郎、佐竹明、新田禮藏、吉田良四郎、佐藤順平、佐藤由夫、箕浦幸吉、森卜三千象、絲井恒榮、美藤澤俊雄

感心な靑訓生

二十八日午後高崎市請地町北區方面委員須藤平三郎氏の許へ北靑訓生として現金三圓を添へ「之れは私が數ケ月間貯蓄した金でありますが區內の困る方へ暮の金の一助として贈與して下さい」との手紙が添へてあつたので須藤氏は取敢ず區內の困窮者中成田町の某廢兵が四才に一才の子を殘して妻君が逃亡し自分は廢兵で不自由な上に近頃負傷して如何ともする事の出來ぬ不幸の一家へ右金を惠與したとの事である

貧しき秀才に先生達の情け
晝は組長、夜は給仕
救はれた孝一少年の奮鬪

高崎市並榎町荻原孝一（一六）君は高崎中學三年生の組長であるが高中へ入學後間もなく不幸にして父を失ひ母の手一つで辛ふじて通學し

◇月々　の月謝等は同市北小學校內の某訓導から出して貰つて今日に至つたが、不運な事には一人の母が今度は病氣となつて炊事も出來ず、又貧困者であつて米鹽の資を得る事が出來ぬので毎朝登校前に納豆を賣り夫れによつて二三ケ月を送つたが親子二人で喰ふ事が容易でなく本月に入りては學校も休み勝ちとなるの止むを得ざる境遇となつたので愈退學を決心し受持の敎諭に其事情を訴へ出たので

◇學校　職員も孝一少年の身の上に同情し諸處聞合せた結果高崎郵便局の給仕を拜命し學校の敎課後毎日高崎局へ勤務して親子が糊口を凌ぐ事となつたが孝一少年は組長を命ぜられて居る丈けに頭腦がよく數學等は四年生以上の力があり四年生にして三年生なる孝一少年に數學の敎へを受けてゐる者さへあるとの事であるから

◇苦學　して居ても學業は少しも退歩せず各方面の同情によつて目的を達する事が出來るであらうとの事である

『母』の續篇出づ

一躍三百五十版を出した鶴見祐輔氏の『母』の續篇を『子』と題して『婦人倶樂部』新年號より發表する處素晴しい評判！

美九里青年團
團長は校長か

多野郡美九里村青年團長は從來は同村小學校長が就任し居つたのを同村の大內靑年が主唱して靑年團長は靑年中より選び既に第二回に亘り靑年が團長の職を勤め來つたるに二回共會費を費消し終に警察署の厄介になつて落着した事實があるので此程に至り靑年會長はヤハリ小學校長が適任だとの議起り將來は從來の通りに恢復する模樣であると

本縣の音樂教育は他縣に劣らぬ
研究會講師として來橋した
外山國彥氏の賞贊

小學校唱歌の標準的唄ひ手として本邦藝術教育の開拓者として著名の東京市立第一高等女學校教諭外山國彥氏は二十七日以來

◇…前橋　高等女學校講堂に於て開催された群馬縣音樂研究會第一回講習會講師として來橋中であつたが昨夕、退橋に臨み「群馬縣の音樂教育に見る向上ぶりは素晴らしいものである」と激賞し次のやうな感想を洩らした

何れの縣へ行つて見ても出席者の多くが本譜をスラ〱讀めるといふことは珍らしい位であるが夫れが本縣の出席者は揃つて本譜を讀みこなし、しかも

◇…男性　の方が著しい進境を告げてゐることも愉快である、私の考へでは一學級二曲ぐらゐは共通的に歌ひ得る歌曲を選んでおき、山村都會を通じて明るい教育が施せるやうに共通細目とを計畫してゐるが、藝術に國境なしでこれは今度集まつた人々が中心となられ、遠足で袖をすり合せた他校同志の子供たちが出逢つた瞬間に一節々々を歌ひあつて別れるといふまで進歩させてもらひたいと思ふ、戰後の獨逸が營々と復興に向つて突進する裏面に

◇…國民　歌がどれだけの役立ちをしてゐるかを想起しても唱歌教育の眞價は疑ぐる餘地のないところである

と力強く結んでゐた

銀行時間延長

高崎商工會議所では同市内の銀行組合に對し土曜日の營業時間を平日通り午後三時半迄延長せられたしとの要求を爲し過般友松副會頭外數氏は各銀行本支店、高崎信用組合等を訪問して懇談するところがあつたが其結果二十八日の土曜日は午後三時半迄營業し更に來る一月四日の土曜にも午後三時半迄營業する筈である

高崎新町賣出

高崎市新町の有志は今回二十一日會を組織し同市內の八日會十日會二十日會等と同樣毎月二十一日に商品の大廉賣を行ひ同町內延命寺の弘法大師緣日と結び付け各方面からの客を吸集する事となつた來る一月二十一日には大々的の大賣出しを行ふ筈である

爐邊雜記

桐織組合忘年會　桐生織物組合では二十八日午後五時からその樓上で役員職員及び銀行、稅務署員、產業記者團等を招じて忘年會を開き彥部組合長及び堀組合會長から挨拶があり紅裙酒間を斡旋して同七時散會した

大箇野統計研究　邑樂郡大箇野村では三十日午後一時各調査員を召集し統計事務研究會を開催

大箇野村人口統計　邑樂郡大箇野村總人口三千五百五十九人內男千七百二十二人女千八百三十七人にて女百三十五人

利根桃野教化動員　利根郡桃野村では二十六日午後一時村役場に於て名譽職各種團體幹部を招集し教化動員公私經濟緊縮實行に關する協議をした

古馬牧村武道講習　利根郡古馬牧村青年團では新春一月三日より六日迄後閑分教場に於て柔道の講習會を開催する由

下古語文の敬老會　利根郡白澤村下古語文青年會及び女子會にては一月一日六十五才以上の男女老齡者を招き支會長宅に於て新年會を兼ね敬老會を催す

奈良青年新年總會　利根郡池田村奈良青年團支部では新春一月一日池田東分教場に於て總會を開き役員改選會計庶務の報告事業計劃等を協議

大箇野會議員選擧　邑樂郡大箇野耕地整理組合會議員の選擧は廿七日村役場に於て執行、砂川長五郎、川田仁助、峰岸常藏三氏當選

池田村で武道大會　利根郡池田村青年團では二十六日武道委員二十餘名參集武道の振興策につき協議會を開き近く武道大會を開催

桐生組合教化動員　桐生織物組合の職員は教化動員の趣旨に基いて來る一日から愛國貯金組合を組織し毎月の俸給中から積立てる事になつた

桐生七夕社の句會　桐生の七夕社では一月十七日市內高砂町の無蓋會社樓上で句會を開くが題は新年雜詠多數の來客を希望してゐる

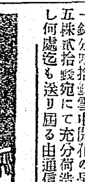
富士見村教化動員　勢多郡富士見村では過般實行委員會にて協議したる教化動員及公私經濟緊縮に關するリーフレツトを各戶に配布した

種畜場の馬術競技　勢多郡富士見村小暮群馬縣種畜場では來る二日高等馬術競技會を開く筈だが當日は先年御大典記念全國馬術競技に參加入賞した佐藤牧夫氏や縣下の名士多數參加するので愛好家の期待するところとなつてる

溫室培養の福壽草

御目出度い福壽草の配布市場として知られたる長野縣下高井郡延德村の樂花園に於ては希望者に万人限り送料荷造り費共郵券四拾錢送れば笑へ始め優等十芽一鉢分を送り二鉢分八拾錢三鉢壹圓拾錢又雪割草々色取合十芽拾六錢廿芽參拾錢黃金色ゑ重狂ゑ水仙五球拾七錢十球參拾錢白實及赤實性南天十本一鉢分四拾錢雪中開花の早咲櫻草五株貳拾錢宛にて充分荷造りをなし何處迄も送り屆る由通信ある

ラヂオ



十二月卅日（月）東京放送番組

第一、◇午前九時　氣象通報

第二、◇午前九時十分　料理獻立　ほうれん草柚子酢　赤堀旺宏

第三、日用品値段

第四、◇正午　時報

第五、◇午後〇時五分　長唄　勸進帳　岡安あい連中

第六、◇午後一時四十分　婦人講座　質問應答　第三十四回

第七、◇午後三時四十分　氣象通報

第八、◇午後六時（子供の時間）切拔き芝居（大阪より）足柄山の金太郎　家庭こども會

第九、◇午後七時　ニュース　讀賣新聞社

第十、◇午後七時二十五分　趣味漫談　富士のダグラス　辰野九紫

第十一、滑稽掛合噺　三人餘興　伊勢音頭外二種　豐年齋梅坊主一座

第十二、落語　不動坊火消　柳亭小燕枝

第十三、ラヂオドラマ　新篇宵庚申（久保田万太郎作）河合武雄　喜多村綠郎　松本要次郎　小堀誠

第十四、◇午後九時四十分　時報、氣象通報

北西の風曇後晴

◇備考　今晩も同樣明日は北西風で曇より次第に晴となり明後日は良い方でせう

慶事用　弔事用
花環　花束　盛花　徽章
美術造花價格至廉
前橋市神明町公園通
西澤製作所
電話三六三番
▲材料精選技術優秀▲

母りさ儀豫て病氣の處養生不相叶遂に本月廿九日午前二時三十五分永眠致候間此段謹告仕候
追而本月三十日午後一時細ケ澤町自宅出棺向町橋林寺に於て佛式相營申候

男　樋口茂太郎
親戚總代　佐久間多濃　須田重三郎
友人總代　齋藤勇造　詫摩清秀　高橋源之助
舊店員總代　海津忠作　石鍋仙太郎　櫻井衡藏

故　鹽川德平　告別式の際は年末御繁忙の處態々御會葬被成下難有奉深謝候混雜の際御芳名伺ひ洩れも可有之と存じ乍略儀紙上を以て御禮申上候

喪主　武田恭一
外親戚一同

支店主任募集
月俸三十五圓以上支給す希望者は上毛新聞社へ履歷書送れ
月刊雜誌新農報社支部

第八十七回決算公告
貸借對照表（昭和四年十一月三十日現在）

資産之部	
發電設備	[illegible]
送電設備	[illegible]
變電設備	[illegible]
配電設備	[illegible]
需用者貸付設備	[illegible]
營業設備	[illegible]
副業設備	[illegible]
營業貸	[illegible]
受取手形	[illegible]
東電證券會社	[illegible]
預ケ金	[illegible]
假出金	[illegible]
建設工事假拂	[illegible]
社債發行差金	[illegible]
金及諸貯藏品	[illegible]
財産證券	[illegible]
有價證券	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]
負債之部	
株金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
社員退職給與基金	[illegible]
社債	[illegible]
借入金	[illegible]
營業預り金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未拂社債元金	[illegible]
未拂社債利子	[illegible]
假受金	[illegible]
外債換算差金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

財産目錄ハ貸借對照表資産之部ト同一ニ付之ヲ略ス

損益計算及利益金分配（第八十七回事業期間）

總收入金	[illegible]
總支出金	[illegible]
差引	[illegible]
内	
諸償却金	[illegible]
社債發行差金償却金	[illegible]
再差引	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
法定積立金	[illegible]
株主配當金（年八分）	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右之通ニ候也
昭和四年十一月
東京市芝區櫻田本郷町貳拾貳番地
東京電燈株式會社

追テ監査役任期滿了ニ付選擧ノ結果伊東三郎、大島戸一、木村庫之助ノ三氏再選重任セラレタリ尚監査役互選ノ結果伊東三郎氏常務監査役ニ當選就任セラレタリ

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。